

事案書（ 経営会議 調整会議）

開催日：平成26年 2月17日（月）

担当課：政策部 総合政策課、政策総務課

| | |
|--|---|
| <p>件 名：「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言について</p> | |
| <p>提出理由：「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行うにあたり、その内容について了承を得るため</p> | |
| <p>内 容：</p> <p>1. 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 1956年、国連の報告書において、全人口に占める65歳以上の人口割合が高齢化率とされた。 当時の日本人の平均寿命は、男性が約64歳、女性が約68歳であったが、2012年には、男性が約80歳、女性が約86歳となっており、半世紀余りで大幅に延びている。 こうした中、日本老年医学会と日本老年学会は、身体能力の高い高齢者が増えていることなどを背景に、一般的に65歳以上とされている高齢者の定義について、検証を始めている。 2013年9月、総務省はわが国の高齢化率が25%となったことを発表し、本市においても、同年10月末に高齢化率が21%を超え、超高齢社会を迎えたところである。 高齢化が進展していく中、健康上の問題で日常生活を制限されることなく、自立して生活できる期間を意味する「健康寿命」を延伸していくことが重要になっている。 <p>2. 目的・基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 国連が65歳以上を高齢者としたことについて、その当時の平均寿命に照らせば、当然であったと考えられる。 しかし、現在、わが国の健康寿命は男女とも70歳を超えており、60歳代の多くの方々は、地域や職場などで活躍している。 こうした方たちが、知識や経験を地域で活かしながら、生きがいを持って自分らしく暮らすことができる環境づくりが求められている。 そのためには、何よりもまず、人々の意識を変えていくことが重要であると考えられることから、本市では、60歳代を高齢者と言わない宣言を行うものとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 本市では、第8次総合計画の将来都市像に健康創造都市を掲げ、人、まち、社会の健康領域における体系的な施策展開を図っている。 これら施策展開の最終的な目標は、市民一人ひとりの健康であり、今回の宣言は、その趣旨を象徴的に表す内容である。 <p>3. 法制度等における高齢者の定義との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、法律や本市の条例等には、「高齢者」について、定義しているものが複数ある。 今回の宣言は、それらの定義や諸制度の対象者を変更するものではなく、現在の運用に変更は生じないものとする。 <p>4. 宣言の内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生80年の時代を迎え、これまで高齢者とされてきた世代の意識も大きく変わり、今では、多くの方々が生き生きと過ごしています。 家庭や地域を支えている方、職場で頑張っている方など、豊かな知識と深い経験を持つ人材は大和の貴重な宝です。 こうした方々に、いつまでも、はつらつと元気に活躍していただきたいと考え、ここに「60歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。 </div> <p>5. 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 宣言イベントの開催 広報掲載、プレスリリース 駅頭でのチラシ配布 PRボード掲示 横断幕掲示 |
| <p>経 過</p> <p>S31. 国連の報告書で65歳以上が高齢者とされた</p> <p>H25. 9 日本の高齢化率が25%を超える</p> <p>H25. 10 大和市の高齢化率が21%を超える</p> <p>H25. 11～ 関係課による調整会議（3回開催）</p> | <p>今後の予定</p> <p>H26. 3 議会報告</p> <p>H26. 4 宣言実施 広報掲載</p> |